



校長だより

日中丸



第7号
H30. 6. 7

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

第5回「日間賀サミット」6.4(月)

本校では、一昨年度から小中学生と大人が島の将来について語り合う「日間賀サミット」を行っています。毎年2回開催される「日間賀サミット」も、今回で5回目となりました。今回は、「人とのふれあいを大切にしよう」をテーマに、6つのグループに分かれて話し合いました。小学生のアイデアに中学生のアイデアを加えたものについて、どうしたら実現できるのかを真剣に話し合いました。小中学生の話に真剣に耳を傾けてくださる大人の姿や、その逆の姿をたくさん見ることができました。忙しい中、ご来校いただきました皆様、ありがとうございました。



第1回学校保健委員会 5.29(火)

学校保健委員会が行われました。今回のテーマは、「良い姿勢と運動器 ～自分の身体は自分で正そう～」です。DVDを鑑賞したり実演したりしながら、良い姿勢について考えました。実際に立ったり座ったり、歩いたりしながら、自分の姿勢をチェックしました。姿勢を正すと、けがをしにくい身体になったり脳が活性化したりするなど良いことがたくさんあることが分かり、実践への意欲をもつことができたようです。良い姿勢を続けていきたいですね。



小中合同避難訓練 5.31(木)

大規模地震発生後に津波警報が発表されたという想定のもと、小学校と合同で避難訓練を行いました。各家庭から小学校体育館（本来は中学校運動場ですが、当日は雨天のため小学校体育館に変更しました）へ避難をしました。避難完了後には、消防署の方から、「自分の命は自分で守る」ことが大事だというお話を聞きました。いざというときには、今回の訓練のように素早く避難したいものです。



朝会より 6.4(月)

生徒発表（6月のテーマ：島の将来について）

鈴木朝日さん（1年）

僕は、今の日間賀島にとっても満足しています。島の人は優しいし、魚やタコはよく捕れて、旅館も民宿もあります。また、自然もたくさんあり、海もきれいで、とても楽しいです。だから、僕はこの日間賀島が好きです。

特に、島の人たちがとても優しく接してくれることが、とてもうれしいです。帰り道で、いつも「お帰り」と言ってくれます。それがいつもうれしいです。家族ではないのに、いつも「お帰り」と言ってくれます。

10年後も、20年後も、自然が豊かで、観光客でにぎわい、優しい人たちであふれる日間賀島であってほしいと思います。

鈴木瑠音奈さん（2年）

私は島の将来について、子どもも大人も共に楽しめる行事があったらいいと思います。例えば、体を動かすのもいいと思います。

日間賀サミットの小学生の意見にもあるように、他の人が普段どうしているのか分からないことが多いと思います。だから、一番は、「楽しい」ということが大事だと思います。そのために必要なことは、「たくさんの人とフレンドリーになること」「島を活性化していこうという想い」ではないかと思います。

日間賀サミットでは、ゴミなどの話題もありますが、一方で、この島がもっとよりよくなっていくようなことをしたらいいと思います。

校長の話

こんな話をしました。

① 町大会について

土曜日に町大会が行われました。各部が目標にしてきた大会だと思います。よかったこと、今後の課題をしっかりと反省して、7月の郡大会に向けて、がむしゃらに練習に取り組んでほしいと思います。郡大会まで限られた練習です。自信をもって郡大会当日を迎えられるようにしてほしいと思います。がんばりましょう。

② 姿勢について

先週の避難訓練の時に、大変うれしいことがありました。消防署の方や小学校の校長先生の話をする時の姿勢が大変すばらしかったことです。話をする人へ体を向け、背筋をぴんと伸ばして聞いている姿がありました。ちょうど先週、学校保健委員会で姿勢について学んだこともあって意識してくれていることもうれしかったです。今も、大変いい姿勢で話を聞くことができている。「やるべきことはやるやっの方がいいと思うこともやる」ということは人に感動を与えることができます。

これからも、よい姿勢を意識して生活していきましょう。

